

あいさつ

会長 熊谷 英昭

冬の寒波も和らぐ弥生三月、あの忌まわしい東日本大震災から一回りの12年が経ちました。その間我が国を初め世界各国で多くの災害が発生、内乱や隣国との争い事が起きており、それに輪をかけてコロナウイルスが世界中に蔓延、私達の世界環境を脅かし未だに終焉の兆しが見えない状態がこの三年以上も続いております。

私達の吉成学区社会福祉協議会もこのコロナ禍の為に、事業展開が思うように出来ず苦渋の選択をしいられ今日に至っております。この広報誌「ゆかり」と名前を変えて12年目、今年度から高齢者・子育て支援・住民の生活環境の問題などを、少しずつ元に戻しながら事業を実施して参りたいと思います。これからもご協力の程宜しくお願いいたします。

◇ 秋の健康講座 ～体力測定してみませんか～



＜敏捷性チェック＞
落下棒を素早くキャッチ



＜バランスチェック＞

日時：令和4年10月22日
10:00～12:00
場所：吉成市民センター
多目的室
講師：せんだんの丘ぶらす
職員2名



握力測定

参加した方は、自分の年齢と平均数値を照らし合わせて「高い部分・低い部分」を確かめていました。来年度も行いますので、参加しませんか、変化が分かりますよ。



＜ 体成分分析測定 ＞自分の体脂肪や筋力をインボデイで測定する

・インボデイとは、人の体は大きく分けて体水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪を定量的に分析し、栄養状態に問題がないか、体がむくんでいないか、身体はバランスよく発達してるかなど、人体成分の過不足を評価することができます。

テレビ電話でモヤッとカフェ

日時：令和 4 年 12 月 1 日（木）
13:30～15:30

場所：それぞれの自宅にて

講師：もの忘れや介護の話し

東北福祉大学せんだんホスピタル
認知症相談員 三嶋千尋氏

参加者：8名

三嶋さんの話から、認知症の人の介護の仕方など普段疑問に思っていることなどを聞くことができました。



吉成台町内会茶話会

日時：令和 4 年 11 月 20 日
10 時～

場所：吉成台集会所

参加者：13 名



講師に仙台市防災安全協会の方 2 名を迎えて、

1, 仙台災害 VR でリアルに防災学習

（命を守るチカラを身につけよう！）

2, 我が家と地域の防災チェック表

3, 家族 4 人の一週間分の食料品と備蓄方法

感想：仙台災害 VR では、他に洪水土砂災害編などが用意されていることから、これらについても機会を見つけて防災学習に取り組みたい。

◇ 福祉便利帳が完成！



吉成社協では、前回、皆様にアンケート調査をした中で、「福祉小冊子」があると良いという意見が62%ありました。その意見を踏まえて今年度は、福祉便利帳作成委員会 11 名（国見ヶ丘地域包括センター職員、社協宮城支部の CSW 職員を含む）を立ち上げ、毎月打合せを行いました。完成品は、各世帯に配布いたしますので、福祉のことで気になることがあったときに参考にして頂ければと思います。



地域の子供たちと一緒にいき、応援して行きたいと思いました。

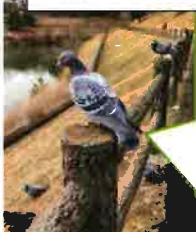
令和五年一月二十九日の週刊かほピョンプレスに吉成中学校の「よしボラ」が掲載されました。内容は、毎年秋に行っている、小学校 5・6 年生と中学校「よしボラ」が地域と連携し「落ち葉掃き」をし、地元貢献で交流の機会を得て地域の方と支え合う大切さを学んでいると書かれていました。



時間のある方は、参加してみませんか

体操で健康予防！
一丁目、三丁目、五丁目の町内会で毎週曜日を決めて介護予防体操を行っています。椅子に座って、ストレッチから始め、手作りのダンベルを持って「いち・に・さん」と声を出し和気藹々で楽しく行っています。

編集後記



幸せを呼ぶ鳩が、水辺の公園に飛んできています。人に慣れているのでしょうか、近づいても逃げないのです。鴨も飛んできています。この団地の憩いの場になって、いつしか幸せを運んでくれる公園になっています。

吉成学区社会福祉協議会の令和 5 年度は、五類になるコロナ感染症の状況を見ながら各地域のサロン活動等ができるように努めていきたいです。